

# 危険な原発の運転・建設反対！ 憲法を守り活かす運動の強化

THE SHAKAI SHIMPO

## 社会新報

発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)  
〒104-0043 東京都中央区東區3-19-17 マル千種本ビル5階 電話代番 03(3553)3787・03(3553)3230  
●定価185円 ●1カ月720円 ●送料168円

### 愛媛県連合版

発行所；社会民主党愛媛県連合  
〒790-0066 松山市宮田町8-6  
Tel：089-941-6065 fax：089-941-6079  
発行責任者；逢坂節子 編集；中村嘉孝・源田竜也

## 伊方原発廃炉・上関原発計画を許さない 安心して原発のない社会をめざす

11月17日、山口市防長苑で、「伊方原発停止・廃炉上関許さない」愛媛大分山口共闘会議総会が開催されました。総会では、三県各地の脱原発の取り組み状況報告や今後の運動方針が確認され、第二の福島を生み出さないためにも、伊方原発の



三県で脱原発運動の強化を確認した

停止・廃炉、上関原発建設の阻止に向けた運動を三県一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

総会の後、「福島の状態について」をテーマに、京都大学複合原子力科学研究所の今中哲二研究員



放射能被曝の恐ろしさを説明する今中哲二さん

の講演が行われました。今中さんは、原発が「原子力ムラの利権」のために建設されたものであり、福島第一原発事故後の子どもの甲状腺がんについても、国は県に丸投げし、県も診察を縮小するなど悪い方向に進んでおり、より広汎な調査が必要であると強調しました。

## 山口県議会議員との意見交換会 祝島島民の壮絶な闘いと想い

11月18日、自治労山口県本部の会議室で、上関原発計画問題をめぐり、山口県議会議員との意見交換会が行われました。



山口県議会議員と上関原発計画の意見交換を行った

中国電力による公有水面埋立免許申請に対し、県は十分な根拠もなく何度も延長申請を許可していることや、「上関原発は、新設に該当しない」と山口県が主張しているなど、多くの疑問点が紹介されました。

分断されながらも、故郷と自然を守るために、地元祝島島民の方々の長きに渡る壮絶な反対運動が



原発事故に対する国の姿勢を批判する吉川はじめ社民党衆議院議員

繰り返され、今現在もなお、上関原発の建設は阻止されている現状について報告されました。吉川はじめ社民党衆議院議員は、国は危険な原発を推進し、一方で、福島原発事故の健康調査を福島県に丸投げする国の対応を強く批判しました。

# 部落解放地方共闘四国ブロック交流会の開催

## 差別をなくすための運動

11月23日、ハーバープラザ八幡浜で、部落解放地方共闘四国ブロック交流会が開催され、宇和島市役所吉田教育係の宝本志保さんに講師をしていただきました。

主催者あいさつで大原英記議長は、自由と民主

主義を求めた香港200万人デモや愛知トリエンナーレでの表現の自由侵害を取り上げ、「戦争と差別を許さない社会」を築き上げていくべきと述



四国各地から多くの労組・団体が学習会に参加した



主催者のあいさつを述べる大原議長

宝本さんは、自身の学生時代や学校での子ども会との出会い、地域の人々とのふれ合いによる部落問題の認識の変化について語りました。当初は部落問題をよく知らず、無関心になっていたことを反省し、学校の先生や地域のひとと話をしていくことで、「差別を受けない」だけでなく、「差別とどう向き合うか」が大切だ

と学び、まずは部落問題に関心を持つことの大切さを訴えました。



差別と向き合っていくことの大切さを語る宝本志保さん

講演会後、事務局長の松尾幸弘さんから「八幡浜闘争」の説明がありました。松尾さんは、この闘争が同和行政のあり方を問うものであると同時に、部落解放運動の原点であることを述べ、私たちの差別をなくす自主的な運動を作り上げ、それに共感する人も協力していくことが大事であると訴えました。

翌日、フィールドワークが行われ、参加者で部落解放運動の歴史を学習しました。



八幡浜での激しい闘争を語る松尾事務局長

# 2019年度憲法を守り活かす愛媛の会総会

11月16日、えひめ社会文化会館で2019年度「憲法を守り活かす愛媛の会」総会が開催されました。

憲法と国民投票法の問題について、井口秀作愛媛大学教授から講演をいただきました。井口先生



は、改憲に意欲的な安倍首相が巧妙な戦略をもって有権者を揺さぶり、憲法改悪を目論んでおり、憲法9条が本当に死文化するかどうかは、護憲派の運動にかかっている」と講演しました。

その後、総会で2019年度活動方針を確認し、

戦争の惨禍を繰り返さないためにも、将来の子どもを戦場に行かせないためにも、憲法改悪反対の集会や学習会の開催、戦争法の廃止に向けた街宣活動等を全県で



護憲の強化を参加者一同で確認した

展開し、「憲法を守り活かす運動」を強化していくことを参加者一同で確認しました。